

NAGASE

2015年3月

長瀬産業株式会社

(証券コード:8012)

創業182年

知恵をビジネスにする技術・情報企業

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

NAGASE

長瀬産業とは

創業182年
知恵をビジネスにする技術・情報企業



長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

◆ 目 次 ◆

- 長瀬産業株式会社 会社紹介
- 182年の歩み(ナガセの変革期)
- セグメント および 取扱商品
- ナガセの特徴(強み)
- 株主還元について
- ナガセの社会貢献活動、その他
- (参考資料)2014年度 第3四半期決算概況

◆ 目 次 ◆

- **長瀬産業株式会社 会社紹介**
- 182年の歩み(ナガセの変革期)
- セグメント および 取扱商品
- ナガセの特徴(強み)
- 株主還元について
- ナガセの社会貢献活動、その他
- (参考資料)2014年度 第3四半期決算概況

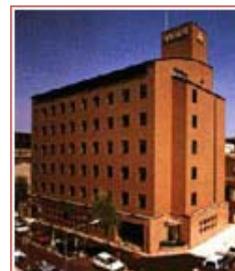
- ・商号 長瀬産業株式会社 NAGASE & CO., LTD.
- ・創業 天保3年(1832年)6月18日
- ・設立 大正6年(1917年)12月9日
- ・資本金 96億円
- ・従業員数 連結5,960名、単体978名 (2014年3月末時点)
- ・主な事業内容 化学品、合成樹脂、電子材料、化粧品、健康食品等の輸出・輸入及び国内販売
- ・グループ会社 100社 (国内42社、海外58社)※
- ・連結売上高 7,232億円(2013年度実績)
- ・連結当期純利益 116億円(2013年度実績)



大阪本社



東京本社



名古屋支店

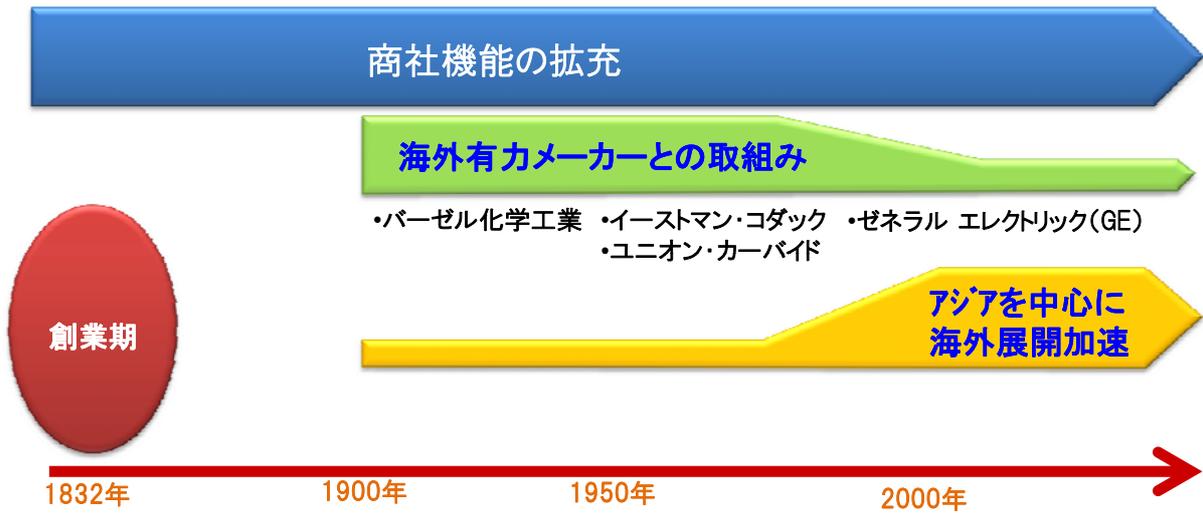
※2013年度末時点の会社数

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

5

◆ 目 次 ◆

- ・ 長瀬産業株式会社 会社紹介
- ・ **182年の歩み(ナガセの変革期)**
- ・ セグメント および 取扱商品
- ・ ナガセの特徴(強み)
- ・ 株主還元について
- ・ ナガセの社会貢献活動、その他
- ・ (参考資料)2014年度 第3四半期決算概況



製造拠点・研究施設展開

- ・帝国化学産業
- ・酵素生産部門
- ・長瀬チバ
- ・ナガセ生化学
- ・ナガセ化成工業
- ・ビューティケア製品部
- ・ナガセR&Dセンター
- ・ナガセケムテックス
- ・林原

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

海外メーカーの代理店として業績を拡大

- 1832年** 京都西陣で染料販売店として創業
- 1900年** スイス・バーゼル化学工業(チバ社)の合成染料の輸入開始
- 1901年** リヨン出張所開設
- 1913年** ロンドン出張所開設
- 1915年** ニューヨーク出張所開設
- 1923年** イーストマン・コダック社と取引開始
- 1930年** ユニオン・カーバイド社(現ダウ・ケミカル社)と代理店契約締結
- 1964年** 大証2部へ株式上場
- 1968年** ゼネラル エレクトリック(GE)社(現サビックIP社)と代理店契約締結

【時代背景】

- 1833年 天保の大飢饉
- 1894年 日清戦争勃発
- 1904年 日露戦争開戦
- 1914年 第一次世界大戦勃発
- 1923年 関東大震災
- 1930年 銀座三越が開店
- 1939年 第二次世界大戦勃発
- 1958年 高度経済成長期突入
- 1968年 3億円事件が発生



初代:長瀬伝兵衛



大正8年頃のロンドン支店在勤者



明治26年当時のチバ社全景

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

1990年代以降、海外向けの取り扱いを増やし、輸入商社からの脱皮を図る

- 1971年 香港に現地法人 設立
アメリカに現地法人 設立
- 1975年 シンガポール に現地法人 設立
- 1980年 ドイツに現地法人 設立
- 1982年 マレーシアに現地法人 設立
- 1985年 韓国に支店設立(現:現地法人化)
- 1988年 台湾に現地法人 設立
- 1989年 タイに現地法人 設立
- 1997年 フィリピンに現地法人 設立
- 1997年 中国/上海に現地法人 設立
- 1998年 インドネシアに現地法人 設立
- 2006年 インドに現地法人 設立
- 2008年 ベトナムに現地法人 設立
- 2009年 ドバイ支店 開設
- 2012年 ブラジルに現地法人 設立

【時代背景】

- 1970年 大阪万博開幕
- 1972年 沖縄返還
- 1976年 ロッキード事件発覚
- 1980年 イラン・イラク戦争開始
- 1991年 バブル崩壊
- 1997年 アジア通貨危機
- 2000年 ITバブル崩壊
- 2005年 愛知万博開催
- 2008年 リーマンショック
- 2011年 東日本大震災
- 2012年 ロンドン五輪開催



ナガセベトナムオフィス



ナガセシンガポール
バングラデシュ駐在員事務所



ナガセシンガポール
オーストラリア支店

海外関係会社 58社(※)

※上記会社数は2013年度末時点

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

- ・ 2000年以降、製造機能を強化し、高付加価値ビジネスを創造
- ・ 商社機能に研究開発、製造・加工機能を付加し、「知恵をビジネスにする技術・情報企業」へ

- 1970年 スイス・チバガイギー社と合併会社「長瀬チバ」設立
- 1971年 米国・GE社と合併会社
「エンジニアリング・プラスチック」設立
- 1990年 神戸市に「ナガセR&Dセンター」開設
- 2000年 製造子会社4社が統合し「ナガセケムテックス」へ
- 2002年 中国無錫に「長瀬精細化工(無錫)」設立
- 2006年 ドイツ「パックテック」グループ会社化
- 2007年 尼崎市に「ナガセアプリケーションワークショップ」開設
- 2012年 「Engineered Material Systems」グループ会社化
「林原」グループ会社化

昭和46年当時の長瀬チバ



ナガセR&Dセンター



ナガセケムテックス(福知山事業所)



ナガセアプリケーションワークショップ



林原(岡山機能糖質工場)

製造・加工会社47社(※)

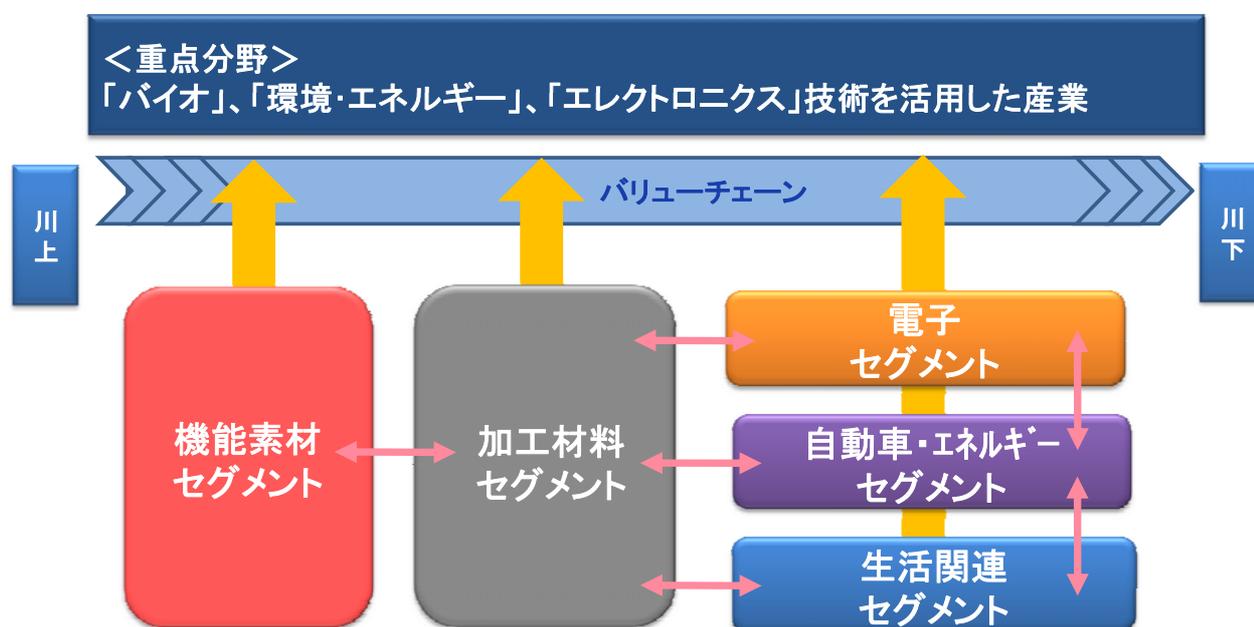
※上記会社数は2013年度末時点

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

◆ 目 次 ◆

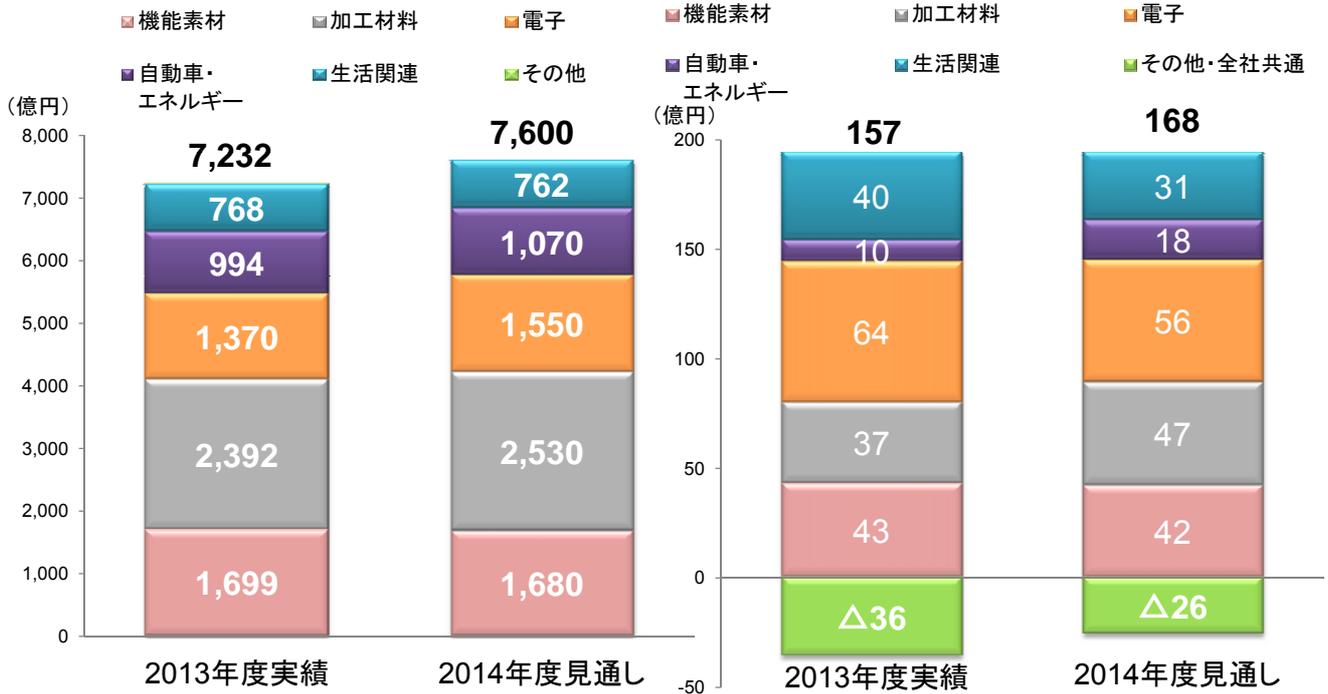
- ・ 長瀬産業株式会社 会社紹介
- ・ 182年の歩み(ナガセの変革期)
- ・ **セグメント および 取扱商品**
- ・ ナガセの特徴(強み)
- ・ 株主還元について
- ・ ナガセの社会貢献活動、その他
- ・ (参考資料)2014年度 第3四半期決算概況

バリューチェーン視点でのセグメント編成により注力事業と機能分担を明確にし、各機能を組み合わせた総合力により「バイオ」「環境・エネルギー」「エレクトロニクス」技術を活用した重点分野を中心に事業成長を目指しています。



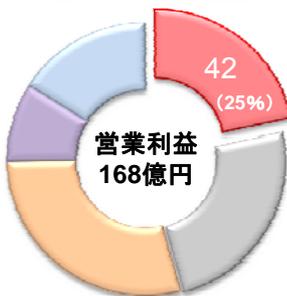
売上高

営業利益



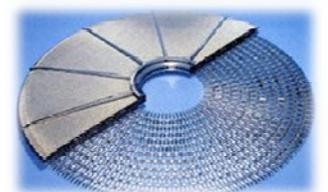
※営業利益の事業セグメント値には、全社共通セグメントを含めていない為、事業セグメント合計値と公表値は一致していません。

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

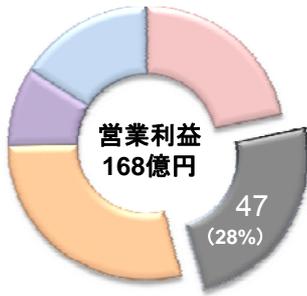


売上高: 1,680億円
営業利益: 42億円 (2014年度見通し)

	機能化学品事業部	スペシャリティケミカル事業部
主要業界	塗料・インキ業界 樹脂業界 合繊業界 ウレタンフォーム業界 フィルム業界	油剤業界 界面活性剤業界 有機合成業界 電子材料業界 半導体業界
主な取扱商品サービス	樹脂原料、樹脂、顔料 溶剤、ウレタン 自社グループ製品 (ポリマーフィルター)	有機合成業界や界面活性剤業界 向け石化製品 原料、中間体、薬液 自社グループ製品 (半導体・液晶・電池関連部材)



長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

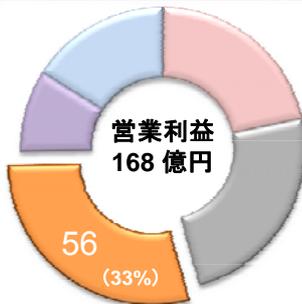


売上高: 2,530億円
営業利益: 47億円 (2014年度見通し)



	色材事業部	ポリマーグローバル アカウント事業部	ポリマープロダクツ 事業部
主要業界	顔料・着色剤業界 製紙・感熱紙業界 印刷業界 繊維加工業界	OA業界 電気・電子業界 家電業界	コスメ・化粧品業界 電気・電子業界 シート・フィルム業界
主な 取扱商品 サービス	顔料・添加剤 機能性色素 デジタル印刷材料 染料 繊維加工剤	合成樹脂 合成樹脂用副資材 合成樹脂関連機器・装置	コポリエステル樹脂 機能性色素 機能性シート・フィルム 樹脂成型品 自社グループ製品 (表面検査装置)

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

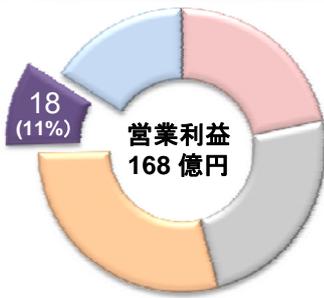


売上高: 1,550億円
営業利益: 56億円 (2014年度見通し)



	電子化学品事業部	電子資材事業部
主要業界	液晶業界 半導体業界 電子部品業界 重電業界 自動車業界	スマートフォン・タブレットPC業界 ディスプレイ業界 タッチパネル業界 LED業界
主な 取扱商品 サービス	自社グループ製品 変性エポキシ樹脂 半導体・液晶製造用薬液 薬液管理装置	LCD・有機EL材料 電子ペーパー材料 光学フィルム ガラス加工製品、バックライト LEDチップ関連材料

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。



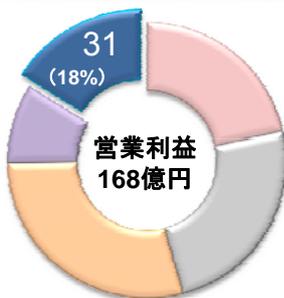
売上高: 1,070億円

営業利益: 18億円 (2014年度見通し)



	自動車材料事業部	エネルギー事業室
主要業界	自動車業界	蓄電池業界 電装業界 太陽光発電業界 自動車業界
主な取扱商品サービス	合成樹脂 合成樹脂用副資材 軽量化素材・部品 電子部品 合成樹脂関連機器・装置	リチウムイオンバッテリー用原材料 太陽光発電パネル 自社グループ製品 〔リチウムイオンバッテリー モジュール・システム〕

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。



売上高: 762億円

営業利益: 31億円 (2014年度見通し)



	ライフ&ヘルスケア製品 事業部	ビューティケア製品 事業部
主要業界	食品業界 医薬・医療・検査薬業界 化粧品業界 ハウスホールド業界 農薬・水産・畜産業界	一般消費者
主な取扱商品サービス	医薬品、検査薬、農薬 自社グループ製品 〔機能性食品素材、食品添加剤 機能性化粧品素材 酵素、飼料〕	〔自社グループ製品 化粧品、健康食品 カウンセリング ケアサービスと併せて提供〕

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

◆ 目 次 ◆

- ・ 長瀬産業株式会社 会社紹介
- ・ 182年の歩み(ナガセの変革期)
- ・ セグメント および 取扱商品
- ・ **ナガセの特徴(強み)**
- ・ 株主還元について
- ・ ナガセの社会貢献活動、その他
- ・ (参考資料)2014年度 第3四半期決算概況

製造・加工機能をもつ化学品専門商社

20カ国100社に広がるグローバルネットワーク

技術力・情報力・研究開発力

強固な財務体質

製造・加工機能をもつ化学品専門商社

20カ国100社に広がるグローバルネットワーク

技術力・情報力・研究開発力

強固な財務体質

12カ国に47社の製造・加工会社を展開

新たなビジネスモデル構築に向け、
「製造・加工機能」を強化

付加価値を高め、事業の質の向上

利益率向上

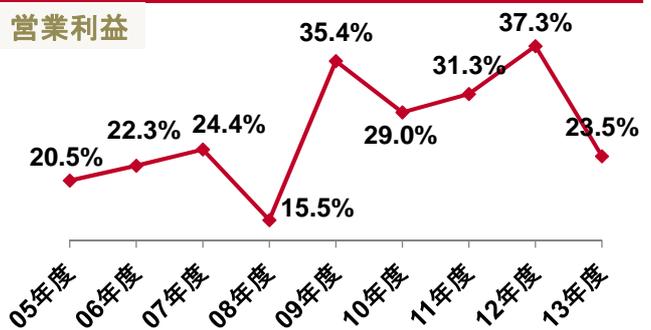
製造・加工会社数(地域別)

日本:18社 北東アジア:13社 東南アジア:9社
北中米:6社 欧州:1社



Engineered Materials Systems Inc. (米国)
工業製品等に使用する接着剤などを製造・開発・販売

製造業の比率



播磨事業所



ナガセケムテックス(株)

酵素、醗酵生産物、医薬中間体、殺菌剤、機能性ポリマー、エピクロヒドリン誘導体、電子材料、等の研究、製造・販売

堺工場



福知山事業所



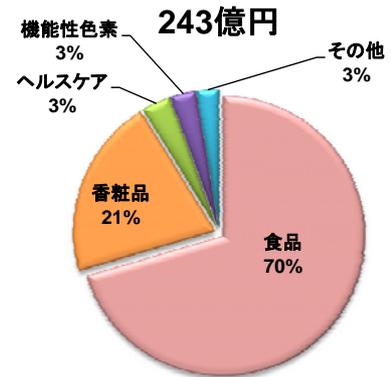
<林原の会社概要>

創業：明治16年(1883年)
 資本金：75億円
 従業員数：595名(2013年度末時点)
 株主：長瀬産業(100%)
 売上高：243億円(2013年度実績)
 当期純利益：47億円(2013年度実績)
 事業内容：食品原料、化粧品原料、健康食品原料
 医薬品原料、機能性色素等
 の開発・製造・販売
 主要製品：トレハロース、マルトース(甘味料)
 他機能性糖類、安定型ビタミンC(AA2G®)
 主要工場：岡山第一工場・岡山機能糖質工場



岡山機能糖質工場

売上構成比



トレハロース (トレハ®)

天然に存在する糖質。
 新規な酵素の発見により、世界で初めて
 澱粉からの量産化に成功。価格が従来の
 100分の1にまで低下し、市場が拡大。



トレハなし

トレハあり

特性および機能

- 低甘味 ●着色しにくい
- 安定性に優れる(耐酸・耐熱性)

澱粉老化抑制、タンパク質の変性防止、冷凍や乾燥による品質劣化抑制、組織癒着防止、凍結細胞の保護などの目的で使用されている



和菓子やコンビニのお菓子等にも多く採用されている



トレハなし

トレハあり

安定型ビタミンC (AA2G®)

酵素により、不安定なビタミンCにブドウ糖を
 結合することで安定化を実現。
 安定型ビタミンCの量産化を可能にした。

特性および機能

医薬部外品の主剤(美白薬用化粧品)として承認。
 生体内において、ビタミンCとしての生理活性を発揮。



生産体制強化

- 新工場
 - ✓岡山機能糖質工場(今保工場)
 - ✓岡山第一工場(藤崎工場)
- トレハ増産

海外販売体制強化

海外ナガセグループを活用した海外販売
アメリカ・カーギル社との代理店契約

岡山機能糖質工場



岡山第一工場



L'プラザ ラボ活用

東京・岡山に独自のアプリケーションラボ
を持ち顧客の製品開発を支援

シンガポール・上海では現地シェフと連携
現地の食材や食習慣に合った
トレハ活用レシピを開発

L'プラザ 岡山ラボ

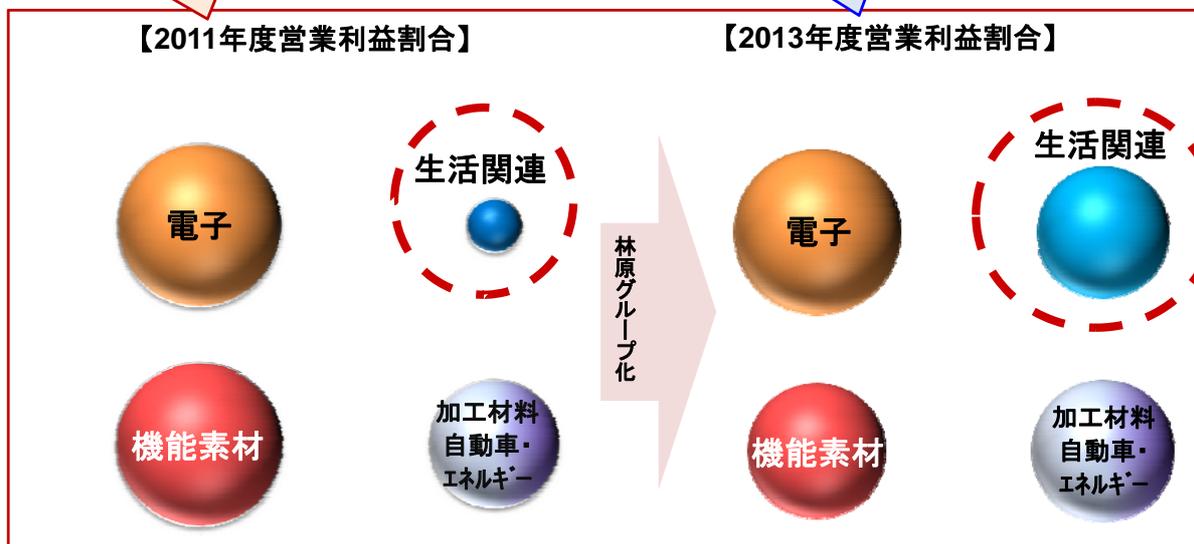


事業ポートフォリオ戦略の観点から、持続的成長が見込め、かつ景気連動性も低い生活関連分野(医・食・健・美)の事業強化・拡大が急務。
⇒同分野への深耕の為、技術獲得が最重要と認識。

林原をグループ化したことにより、
事業ポートフォリオが安定化。
今後、ナガセグループとの融合により
更なる拡大を図る。

【2011年度営業利益割合】

【2013年度営業利益割合】



製造・加工機能をもつ化学品専門商社

20カ国100社に広がるグローバルネットワーク

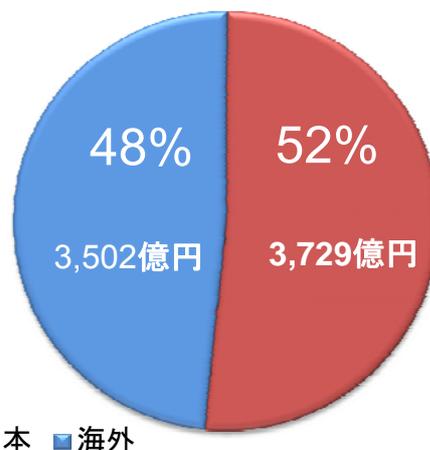
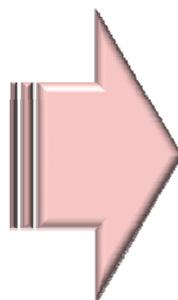
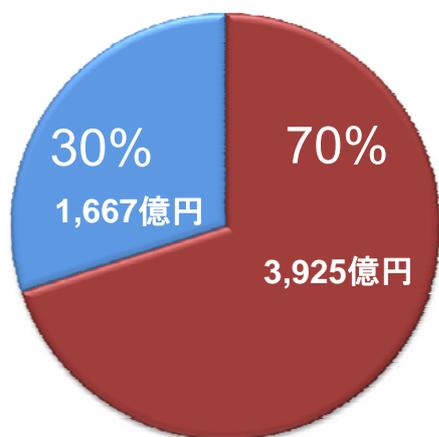
技術力・情報力・研究開発力

強固な財務体質

海外売上高比率が上昇

2000年度実績

2013年度実績



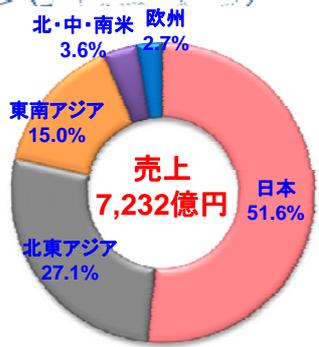
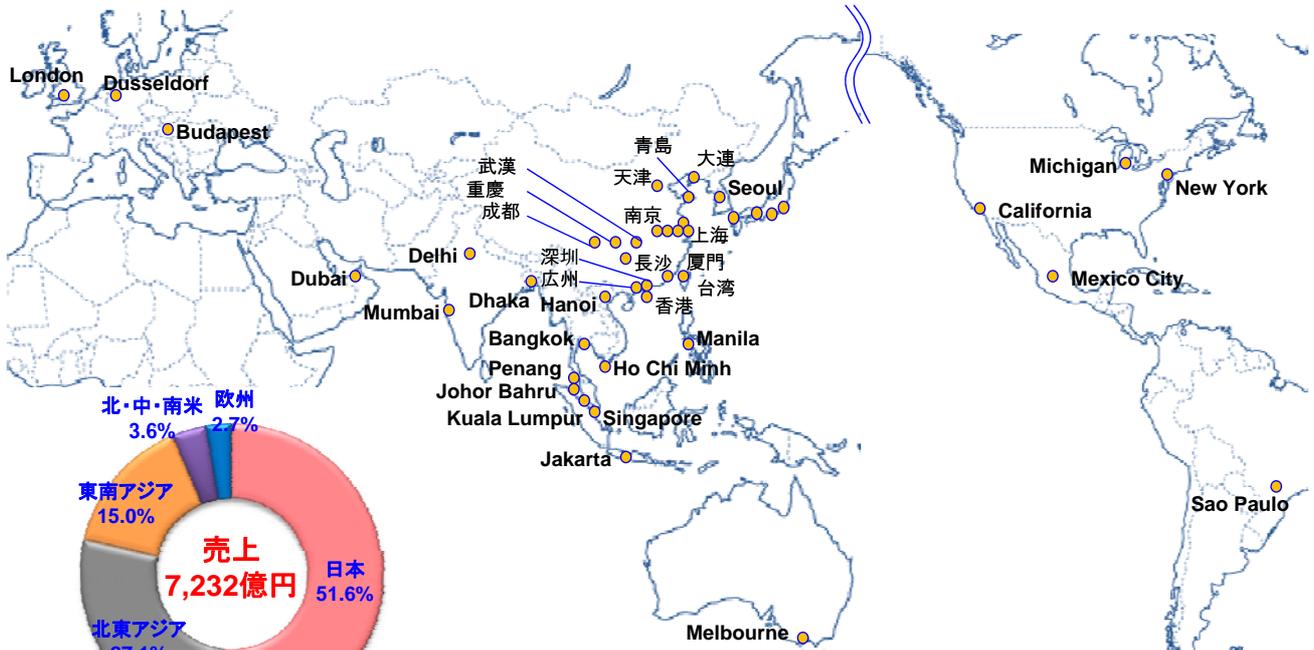
■日本 ■海外

■日本 ■海外

連結売上高
5,593億円

連結売上高
7,232億円

販売・サービス会社 20カ国53社

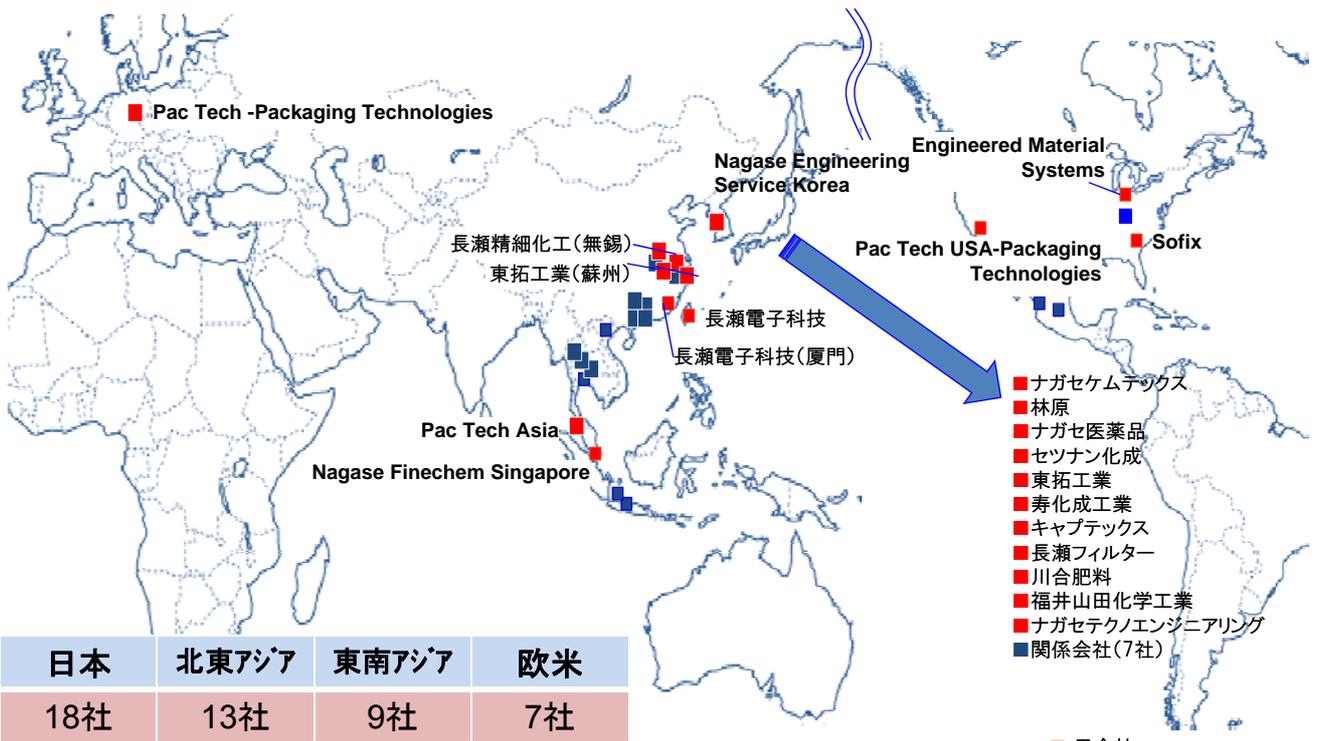


日本	北東アジア	東南アジア	欧米
24社	16社	9社	4社

※上記会社数は2013年度末時点

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

製造・加工会社 12カ国47社



- ナガセケムテックス
- 林原
- ナガセ医薬品
- セツナン化成
- 東拓工業
- 寿化成工業
- キャブテックス
- 長瀬フィルター
- 川合肥料
- 福井山田化学工業
- ナガセテクノエンジニアリング
- 関係会社(7社)

日本	北東アジア	東南アジア	欧米
18社	13社	9社	7社

※上記会社数は2013年度末時点

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

■ 子会社

製造・加工機能をもつ化学品専門商社

20カ国100社に広がるグローバルネットワーク

技術力・情報力・研究開発力

強固な財務体質

技術力

・社員の6割を理系出身者が占め、高度な技術情報に基づき顧客とリレーションを図る

情報力

・約6,000社に及ぶ優良な顧客基盤のもと、新技術や新製品の研究・開発を進め、様々な分野の最先端情報を蓄積し、新たなマーケットを開拓

研究開発力

・ナガセR&Dセンター、ナガセアプリケーションワークショップをはじめ各製造会社にて研究開発を行い、技術的側面から顧客・市場に対しソリューションを提案・提供



ナガセ R&Dセンター
 将来事業の基盤技術開発
 バイオ分野の研究開発



ナガセアプリケーションワークショップ
 アプリケーション開発、ソリューション提供
 合成樹脂、コーティング材料



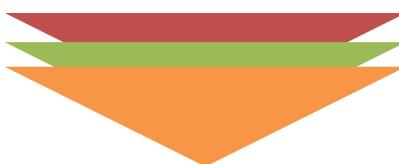
長瀬精細化工(無錫) R&Dセンター
 エレクトロニクス関連(エポキシ樹脂)
 のアプリケーション開発

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

製造・加工機能をもつ化学品専門商社

20カ国100社に広がるグローバルネットワーク

技術力・情報力・研究開発力



ナガセのビジネス

従来の商社機能に加え、製造・加工機能と研究開発機能の融合により
ユニークで付加価値の高いビジネスモデルを展開



長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

製造・加工機能をもつ化学品専門商社

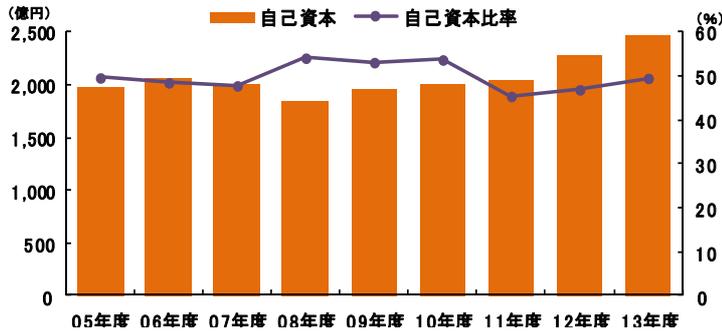
20カ国100社に広がるグローバルネットワーク

技術力・情報力・研究開発力

強固な財務体質

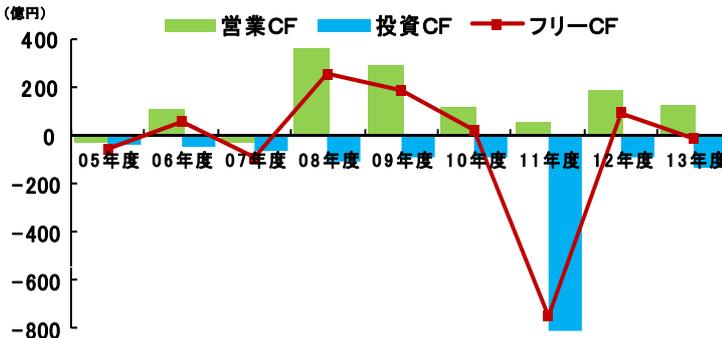
長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

発行体格付「A(シングルエーフラット)」取得
(格付投資情報センター(R&I社)より)



【R&I社より評価いただいているポイント】

- 1.国内トップの化学品専門商社**
⇒技術情報に優れるほか製造・加工機能も充実しており、顧客の多様なニーズに対応。
- 2.収益基盤が強固であること**
⇒取引先が国内外に約6,000社と多いうえ、業種が多岐に渡っており、また特定の商品や地域への依存度が低いこと。
- 3.収益力の水準・安定性が高いこと**
⇒グループ化した林原も順調に収益を確保しており、商社事業を基盤に製造・加工機能が融合し収益基盤を支えている。
- 4.財務基盤が強固であること。**
⇒過去からの利益の積み重ねにより自己資本が厚く、強固な財務基盤を維持している。

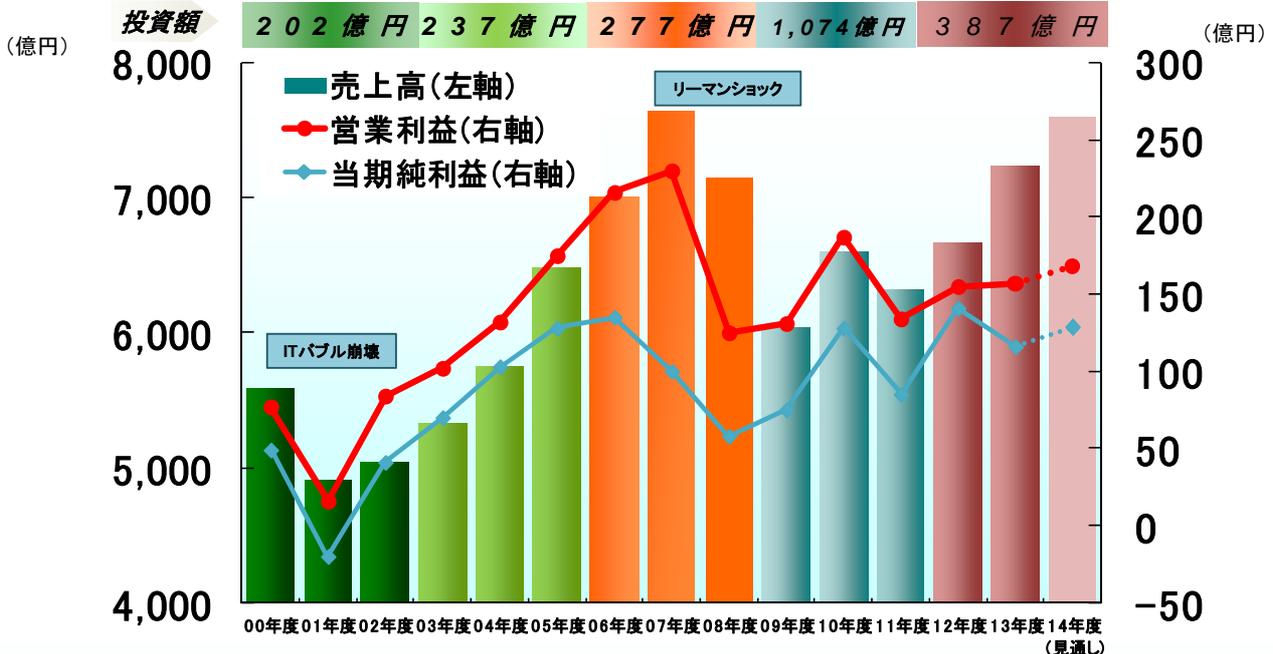


※CF：キャッシュ・フロー

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

中期経営計画

変革	推進	拡大・強化	事業と運営の質の向上	“CHANGE”の加速
WIT2000	WIT21	WIT2008	“CHANGE” II	Change-S2014



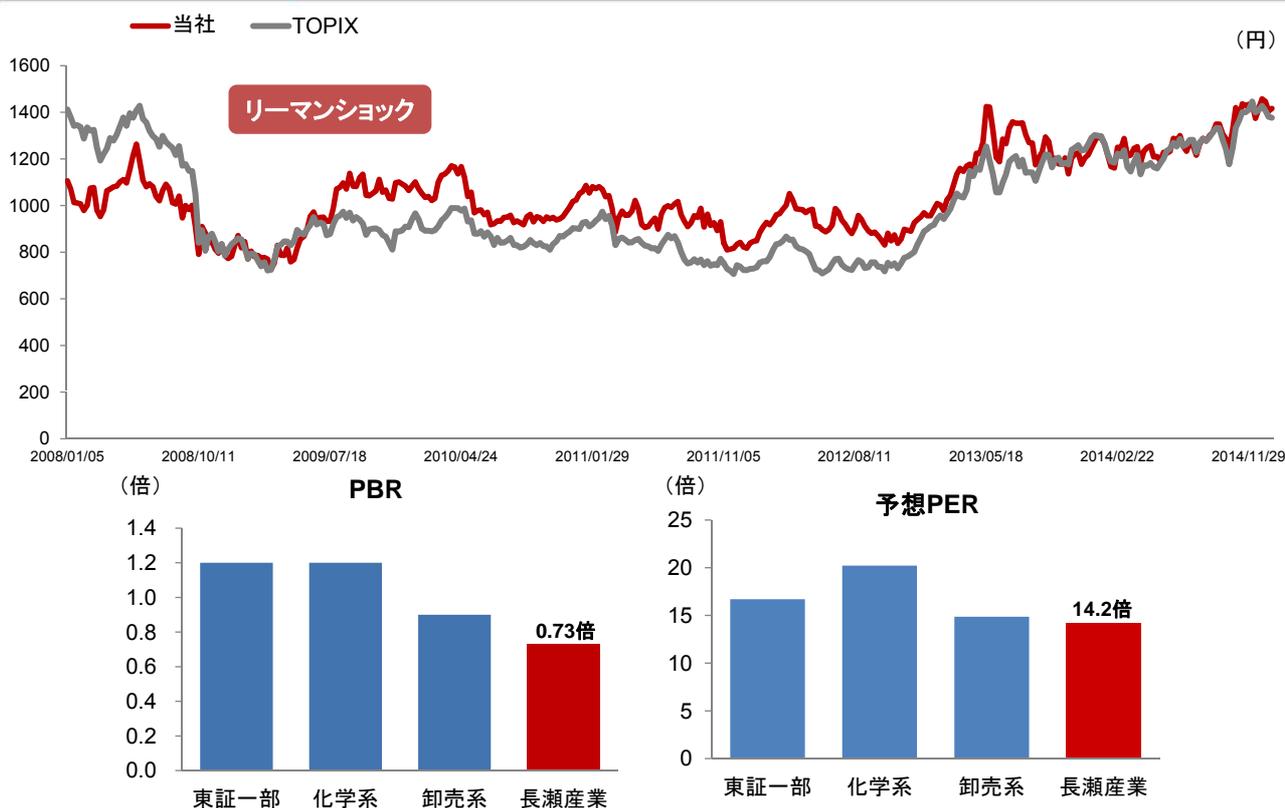
長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

◆ 目 次 ◆

- 長瀬産業株式会社 会社紹介
- 182年の歩み(ナガセの変革期)
- セグメント および 取扱商品
- ナガセの特徴(強み)
- **株主還元について**
- ナガセの社会貢献活動、その他
- (参考資料)2014年度 第3四半期決算概況

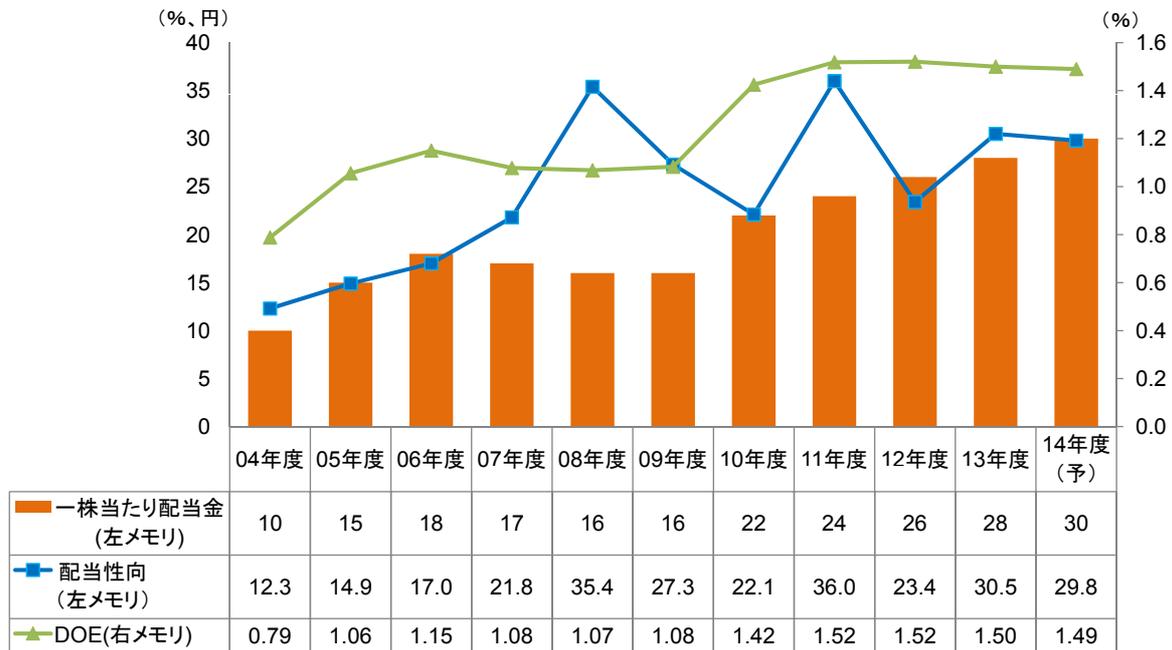
長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

株価・PBR・予想PER



※上記PBRは2014年12月末時点(東京証券取引所ホームページより)、予想PERは2015年1月28日時点での数値を用いて算出(QUICK端末より)

収益力の向上と企業体質の一層の充実強化を図り、**連結業績連動**を基礎とした、株主の皆様への**安定配当**を継続して行うことを基本方針としており、**連結配当性向**および**連結純資産配当率**を勘案して、**1株当たり配当額の向上を目指します**。



※14年度の期末配当は、2015年6月開催予定の株主総会にて付議予定

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

次回お届けする株主優待品
決算期末(3月31日)現在の株主の方へ
保有株数に応じて、6月下旬に発送致します。

100株以上保有の方へ

■ ナガセプレミアムバス



ナガセ プレミアム バス

1,000株以上保有の方へ

- ケアシス ラプトネス ヘアシャンプー
- ケアシス ラプトネス ヘアトリートメント
- ナガセプレミアムバス



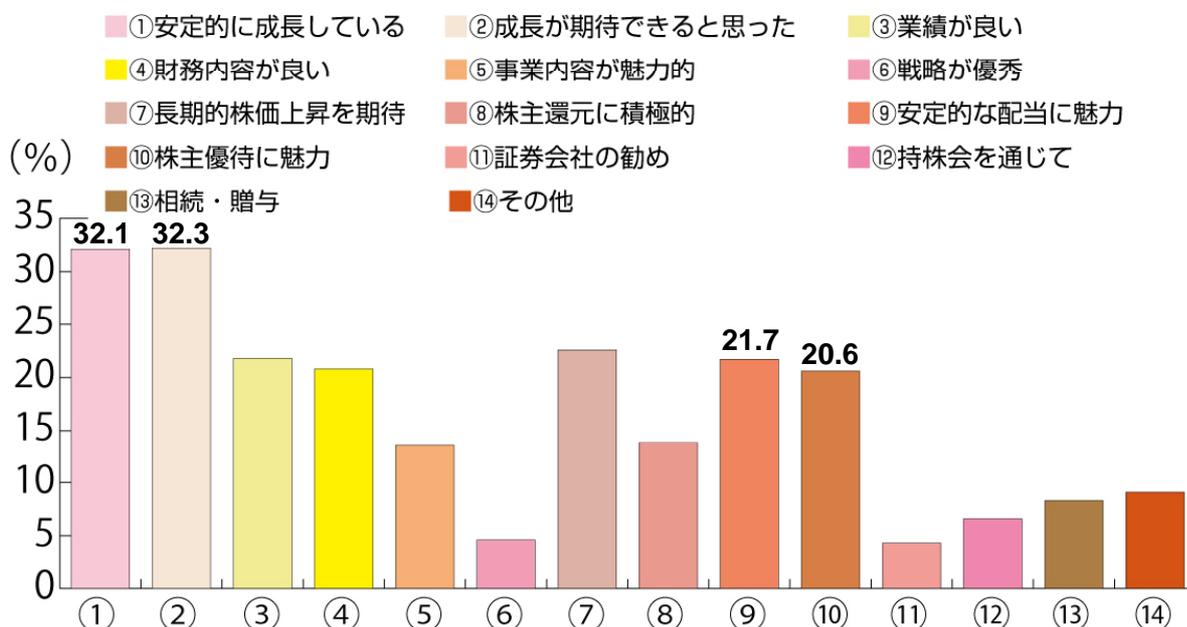
ケアシス ラプトネス ヘアシャンプー
ケアシス ラプトネス ヘアトリートメント

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

【当社株式取得理由】

- ・ 安定的に成長している。
- ・ 成長期待ができる。

※安定配当や株主優待も株式取得理由上位



※2012年9月末時点の株主の方に対して行ったアンケート調査結果

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

◆ 目 次 ◆

- ・ 長瀬産業株式会社 会社紹介
- ・ 182年の歩み(ナガセの変革期)
- ・ セグメント および 取扱商品
- ・ ナガセの特徴(強み)
- ・ 株主還元について
- ・ **ナガセの社会貢献活動、その他**
- ・ (参考資料)2014年度 第3四半期決算概況

- 「TABLE FOR TWO」への取り組み
- (公財)長瀬科学技術振興財団から研究助成および国際交流支援
- 子育て支援認定事業者として「くるみん」を取得
- 地域社会への貢献 等



(公財)長瀬科学技術振興財団



- ・大阪市の都市景観資源に登録
- ・生きた建築フェスティバル



大阪本社本館

「TABLE FOR TWO」(TFT)
当社社員食堂にてTFTメニューが販売されると
発展途上国の子供達一食分の給食が寄付されます

日本橋清掃ボランティアへの参加



地域社会とのコミュニケーション



「くるみん」の取得

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

- 看板広告:羽田空港第1ターミナル



- 看板広告:新大阪駅構内
(新幹線乗り換え)



- 東海道新幹線



- 他、新聞広告等

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。



URL <http://www.nagase.co.jp/>

長瀬産業

検索

主要なコンテンツ

- ニュースリリース
- 企業情報
- 事業内容
- IR(投資家情報)
- CSR(環境・社会)
- 採用情報 等

当社では、多くのステークホルダーの方々には当社の事業内容や強みなどを理解いただけるようホームページの充実を図っています。是非ご活用ください。

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

47

社会の構成員たることを自覚し

誠実に正道を歩む

活動により

社会が求める製品とサービスを提供し

会社の発展を通じて

社員の福祉の向上と社会への貢献につとめる



知恵をビジネスにする技術・情報企業

長瀬産業株式会社

<http://www.nagase.co.jp>

当プレゼンテーション資料には、2015年3月24日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

48

参考資料

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

49

損益計算書

- ・主に海外での自動車関連事業、OA・家電用途関連事業の好調等により290億円増収
- ・当期純利益は投資有価証券売却益の減少等により横ばい

(億円)

	13/12	14/12	増減額	前年 同期比	通期 見通し	前期比
売上高	5,431	5,721	+290	105%	7,600	105%
売上総利益	671	688	+16	103%	911	102%
<利益率>	12.4%	12.0%	—	—	12.0%	—
販売管理費	545	546	+0	100%	743	102%
営業利益	126	142	+16	113%	168	106%
経常利益	145	163	+17	112%	187	104%
四半期純利益	111	110	△0	99%	128	110%
為替レート	@99.8	@106.8	@7円安		@103	—

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。

50

貸借対照表

・自己資本比率:48.9%

(億円)

資産				負債及び純資産			
	14/03	14/12	増減額		14/03	14/12	増減額
流動資産	3,063	3,511	+447	流動負債	1,636	2,005	+369
現金・預金	349	360	+10	支払手形・買掛金	1,050	1,251	+201
受取手形・売掛金	2,029	2,345	+315	短期借入金	354	428	+74
棚卸資産	574	681	+107	1年内償還予定の社債	—	100	+100
その他	109	123	+14	その他	232	226	△6
固定資産	1,917	2,101	+183	固定負債	826	803	△22
有形固定資産	639	644	+5	長期借入金	271	275	+4
無形固定資産	530	497	△32	社債	300	200	△100
投資・その他の資産合計	748	958	+210	繰延税金負債	125	195	+69
投資有価証券	662	860	+197	その他	129	132	+3
その他	85	98	+13	負債合計	2,462	2,809	+346
				純資産	2,518	2,803	+284
				株主資本	2,193	2,260	+67
				その他の包括利益累計額	273	482	+209
				為替換算調整勘定	22	100	+77
				その他有価証券評価差額金	247	381	+133
				その他	3	1	△2
				少数株主持分	51	59	+7
資産合計	4,981	5,612	+631	負債・純資産	4,981	5,612	+631

長瀬産業は誠実に正道を歩み、商社の枠を超え、研究開発・製造機能をあわせ持つ「知恵をビジネスにする技術・情報企業」です。